

1. 日時・場所

平成26年1月17日（金）第4限 2年7組教室

2. 対象クラス

福祉教養科2年7組 18名

3. 生徒観

4. 教材観

福祉に携わる者として、高齢者・障害者への理解と、そのためのコミュニケーション方法を学ぶことは必須であるとする。特に、利用者の生活支援に関わる介護福祉士にとって、コミュニケーションは利用者との信頼関係を築いていくことや、質の高い支援を行っていく上での土台であるといえる。

障害のある利用者とのコミュニケーションをとる際は、その利用者の状態や状況を理解した上で、それぞれの利用者に応じたコミュニケーション方法を学習し、身に付けさせていく必要がある。

5. 単元名

障害のある利用者とのコミュニケーション

6. 単元目標

- ・障害のある利用者はどのような点で困難を感じるのか、コミュニケーションをとる際はどのようなことに注意したらよいかを学び、それぞれの障害について理解する。
- ・利用者の状態や状況に合わせたコミュニケーション方法を、実践を通して理解する。

7. 指導計画

- 1) 障害のある利用者とのコミュニケーションの基本・・・2時間
- 2) 認知症の利用者とのコミュニケーション・・・・・・・・3時間
- 3) 視覚障害者とのコミュニケーション・・・・・・・・4時間
- 4) 聴覚障害者とのコミュニケーション・・・・・・・・3時間（本時）
- 5) その他の障害者とのコミュニケーション・・・・・・・・3時間

8. 本時の計画

(1) 授業者名 「聴覚障害者とのコミュニケーション」

(2) 本時の目標 聴覚障害者とのコミュニケーションをとる際は、どのような手段が適しているかを考え、目で見えるコミュニケーションが有効であることを理解する。また、その手段の一つに手話によるコミュニケーションがあることを知る。

授業展開

段階 (配当時間)	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、出欠の確認 ・本時の授業の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、授業に臨む態度を整え挨拶をする。 ・本時の授業の内容を理解し、見通しをもって授業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、授業に臨む態度を整えさせてから挨拶をさせる。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・声なし伝達ゲーム、ジェスチャーゲーム ・聴覚障害者とのコミュニケーション方法 ・目で見えるコミュニケーション ・手話であいさつ、気持ちの表現 ・手話を使って伝達ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを通して音声を使わない環境を体験する。 ・ゲームを通して気づいたこと、感じたことをワークシートにまとめる。 ・聴覚障害者に伝えたいことを伝えるためには、どのような手段が適しているか考える。 ・聴覚障害者とのコミュニケーション方法を考え、その一つに手話があること理解する。 ・簡単な手話をしながら、手話は手の動きだけでなく、顔の表情も重要であることを理解する。 ・手話は言いたいことが見える会話であることを理解する。 ・学習した手話を使って、手の動きや顔の表情に気をつけながら再度ゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに移動、ゲーム開始ができるよう、生徒を誘導する。 ・数名の生徒に意見を発表させ、内容を共有させる。 ・机間をし、学習の状況を確認する。 ・生徒に発問しながら、答えを考えさせる。 ・簡単な手話を紹介し、手話のもつ役割を理解させる。 ・スムーズに移動、ゲーム開始ができるよう、生徒を誘導する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話に限らず、聴覚障害者とのコミュニケーション方法には、目で見えるコミュニケーションが有効であることを確認し、ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時のまとめを記入させる。

9. 評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者とのコミュニケーション方法について考え、必要な知識や技術を身につけることができたか。 ・同じグループのメンバーと協力し、活動に参加しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態や状況に合わせたコミュニケーションの方法を理解し、その方法を手話やゲームを通して表現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを通して感じたことや、相手に伝えたいことを伝えるためにはどのような手段が適しているかを考え、ワークシートにまとめることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態や状況に応じたコミュニケーションの方法を理解することができたか。

()番 氏名()

2年7組 コミュニケーション技術 No.21

担当：

月 日()

第1章 介護福祉におけるコミュニケーション

聴覚障害者とのコミュニケーション2

〈ゲームを通して…〉

Q1 声を使わない場合、どんなことに苦労しましたか？

Q2 伝わりにくい言葉（内容）はどのようなものでしたか？

Q3 伝えることに気を付けたことはなんですか？
（または、どんなことに気を付ければよいと思いますか？）

Q4 声が聞こえない人に、伝えたいことを伝えるためにはどのような手段が適していますか

